

# いま、あらためてロータリーを 考える

*January 14, 2023 (Saturday)*

*RID2790 新春講演会*

*TKPガーデンシティ千葉 4F コンチェルト*



# 本日のお話のあらまし

- 日常感覚としてのロータリー
- 『手続要覧』と国際ロータリーの現状、混沌化する世界
- 国際ロータリーの勇み足(ポリオ根絶活動)
- 加速するR I主動のロータリー
- いま、あらためてロータリーを考える

# 日常感覚としてのロータリー

- クラブ例会中心の活動と義務的奉仕活動(寄付を含む)
- 開会点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング斉唱、ゲスト紹介、  
ビジター紹介、出席報告、会長挨拶、幹事報告、  
委員会報告、ニコニコ箱(スマイルボックス)披露、卓話の時間、  
点鐘閉会 ➡ **結構特殊な構成**
- SAA、RI、ガバナー、地区、インターアクト、ローターアクト、RYLA、  
メイクアップ、IM等々 ➡ **不明な用語**
- 顧客が増えるという願望(相互扶助) ➡ **ほぼ幻想(無くはない)**

# *Engage Rotary* (主体的に参加してこそ！)

[質問] あなたがロータリーに誘われたのはなぜですか？

- \* 例会にも慣れたし、ロータリーソングも唄える。
- \* 会員の顔も大体覚えた。
- \* 奉仕活動にも一応参加している。
- \* 委員会には出席している。



**ロータリークラブの会員(受け身と思考停止)**

# 会員意識とクラブの印象は別物？

クラブ類型を分ける要素：「親睦」と「奉仕活動」の活発さ

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| ① 親睦も奉仕活動も不活発     | 低調クラブ  |
| ② 親睦は不活発だが奉仕活動は活発 | 外面クラブ  |
| ③ 親睦は活発だが奉仕活動は不活発 | 仲良しクラブ |
| ④ 親睦も奉仕活動も活発      | 元気なクラブ |

クラブの活動を担っているのは、20%の会員？

# 『手続要覧』はお持ちですか？

2022年版は、A4版70頁（1981年版は、B5版338頁でした）



# 『ロータリー章典 ( Rotary Code of Policies )』 ご存知ですか？

- 『国際ロータリー定款』、「国際ロータリー細則」、『標準ロータリークラブ定款』の3規則集をまとめて**組織規定文書**と呼称します。
- 『ロータリー章典』“本章典は組織規定文書を補足するものであり、組織規定文書に即して解釈されるべきである。組織規定文書の規定と本章典の規定とが一致しない場合、組織規定文書が優先され、章典の一致しない部分は修正されることになる”
- 『ロータリー章典』2022年10月版は、72章811ページに及ぶ膨大なものであり、各国際ロータリー理事会において必要があれば、その都度追加・修正されます。**『章典』は未完で作成進行中！**

# 1982年入会時受取ったRI発刊の3書籍



# 国際ロータリー(RI)の現状とローターアクトクラブ

- ロータリー史上初の女性会長誕生 *Jennifer E. Jones*
- 1,197,365 名ロータリアン、37,014 クラブ (2022年10月)
- 203,298 名ローターアクター、10,698 クラブ (My Rotary)
- RIは、全世界のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体  
ローターアクトクラブは、RI理事会の強い管理下に在ります。  
RI理事会は、ローターアクトクラブの構成(会員資格)を定め、  
標準ローターアクトクラブ定款も作成・改正します。

# ポリオ根絶活動の現状とコロナパンデミック

- 野生型ポリオウイルスによる今年度12月26日現在の症例数は、常在国パキスタン20症例、アフガニスタン2症例、非常在国モザンビーク8症例となっていますが、ワクチン由来の症例数も増加しています。
- コロナパンデミックの体験は、ワクチンへの信頼性に懸念を抱かせる事態を招きました。
- WHO、国際連合、ビル&メリンダ・ゲイツ財団などへの依存に対する疑問も呈せられるような事態に世界はあります。

**経験のない不可思議な時代に遭遇！**

# ウクライナ支援声明の是非

- 2022年2月24日、ロシア軍がウクライナ東部に軍事侵攻しました。表面上、この事実は両国の外交的交渉の決裂を意味します。
- 『ロータリー章典 26.020. ロータリーと政治』: ロータリーの世界中の会員は、様々な政治的見解を持つ個人であるため、ロータリーは、政治的主题に関していかなる団体活動あるいは団体としての意見の表明も行わないものとする。
- RIは2月25日、「ウクライナ情勢に関するロータリーからの声明」を出しています。「…私たちは、国際社会と共に即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立関係のための外交努力の再開を求めます。…」

**★前例無く出たロータリーのウクライナ支援声明をどう評価？**

# DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)

[質問] DEI方針への感想をお聞かせくださいませんか？

\* 様々なマイノリティへの対応？

\* 方針に反する言動はRIに報告？

\* *Equality*ではなく *Equity*とする意図は？

\* なぜDEI方針がロータリーに欠かせないのか？



**「奉仕の理念」適用の徹底という選択肢!**



January14,2023

TAKESHI MATSUMIYA

13

# 2021年2月3日国際協議会における ジョン・ヒューコ事務総長のアドレス

- ロータリー史上 2つの転換点
  - ① 3-H 補助金プログラム導入(1978~1979)
  - ② ポリオプラスプログラムの開始(1985~1986)
- **1978~'79 55年間に及ぶ組織的プログラムに対する禁止規則が克服された。(決議23-34第5項)**
- 想定外とも言える強い反対にも拘らず、先見性ある決断が陽の目を見たことは、ロータリーのその後と今後にとって極めて重要なことであった。

## 決議 23-34 第 5 項条文

- 各ロータリークラブは、クラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利を持っている。しかし、いかなるクラブもロータリーの綱領(目的)を無視したり、ロータリークラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。そして国際ロータリー(RI)は、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与えることはあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする。 (それを絶対に禁じるべきではない。2019年)

# 1978~'79 RI主導型奉仕活動(3-Hプログラム)

- 「ロータリー創立75周年(1980)構想」:RI会長ジャック・デイビスは、国連国際児童年(1979)に繋がるプログラムを委員会に具申
- さらに彼は、RI会長エレクトクレム・レヌーフに「国際大会で“小児疾患を亡くすプログラム発足」発案を呼びかけた
- クレム・レヌーフによる労作「3-Hプログラムおよび75周年基金提案書」を翌日のRI理事会が承認した

**自らの任務(RI会長)の重要性に対する自己認識が、  
ロータリーの在り様を逸脱する!**

# 1978年5月14~18日 東京国際大会の皮肉！

- ジャック・デイビスRI会長：「全人類を結びつけるために奉仕せよ」と強調
- ジェイムス・ヘスター国連大学初代総長：世界飢餓と人類と社会発展に関する講演(5月16日)
- ロバート・ヒングソン博士：世界の飢餓と疾病に関する講演、1時間に1000人に予防接種可能な「ピースガン」の実演(5月17日)
- クレム・レヌーフRI会長エレクト：ロータリーが新時代を切り開く3-H「保健・飢餓追放・人間性尊重」プログラム発表とその為の「75周年基金」提唱

**39,834人聴衆の熱狂的な大喝采と寄付金の殺到！**

*Clem Renouf*  
(1921~2020)



*Charles C. Keller*  
(1924~2018)



# 1988年5月24日 今こそロータリー最良の時！

- 1985年(RI会長:カルロス・カンセコ)「ポリオプラスプログラム」スタート、2005年までにポリオを根絶するという目標を設定
- その為に、最初の3年間で1億2,000万ドルの募金を呼び掛けた。
- ロータリー80年の歴史においては、いかなるプロジェクトやプログラムの予算もその10分の1にも満たなかった。

**2億4,700万ドル チャールズ・ケラーRI会長の宣言  
「今こそロータリー最良の時!!」**

# 加速する RI 主導のロータリー

- 規定審議会に関わる RI 理事会の振る舞い
- 『ロータリー章典』改正を踏み台としての RI 方針の推進
- 正規の手続きを踏まない RI 理事会決議の具体化
- 試験的プロジェクト実施地区、地域の恣意的指名
- ロータリーの基本や伝統にそぐわない制定案等の放任
  - ➡ 中間組織構成の変更 (SRF)、人頭分担金上昇、例会軽視  
大規模プロジェクト推進、トップダウンの方針決定

# いま、あらためてロータリーを考える

- DEI方針をロータリーの親睦(Fellowship)考察・推進のきっかけとする! ➡ **歴史的に「ロータリーらしい親睦」は実現していない**
- RIの打ち出した「地域化Localization」を、あらためて「**ロータリークラブと地域社会**」の関わりを考え直す機会とする!
- 「ロータリーが実践する具体的な奉仕活動はどうあるべきか?」については、今日まで充分考察されることは無かった! ➡ **東日本大震災という体験 ➡ 活動が対症療法の域を脱するために!**
- 自己改善(Personal Betterment)をロータリー活動に位置付ける

# ロータリーと 私、仲間、地域社会、そして世界

- Service の持つ究極の意味は、“この地球上に生を受けたものとして、私にだけ与えられた賜物を生かして自分らしく生きること”
- ロータリークラブは、共通の目的を有した多様な職業人たる私が自発的に集う緩やかなアソシエーション(中間組織)であり、その特色あるフェロウシップ(仲間意識)を生かした活動が、より善い地域社会に貢献する
- ロータリアン相互が国際ロータリーを介して交流する事で世界の相互理解、親善、平和に貢献する(ロータリーの目的第4項)

# *The Ideal of Service* 奉仕の理念の探求と実践

- 職業奉仕 ( Vocational Service ) も、親睦 ( Fellowship ) も、奉仕活動 ( Volunteer Activity ) も、「ロータリーの目的」第3項: 奉仕理念の適用傘下の事柄です。
- 人生におけるあらゆる人間関係の場面に The Ideal of Service を適用実践する過程を Personal Betterment と呼ぶのだと思います。
- Profit を Guy Gundaker は、**機会 Opportunity** だと言いました。英語の原義に即せば Benefit 恩恵に限りなく近いでしょう。

**Service、Serve については、あなたが深い考察を続けてください!**

# *This Rotarian Age は The Ideal of Service で!*

